



この記事URL : <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00154/01442/>

このページに掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。
著作権は日経BP、またはその情報提供者に帰属します。
掲載している情報は、記事執筆時点のものです。

ニュース解説：建築・住宅

連載をフォロー

中銀カプセルタワーの解体現場に潜入、合計100個超の取り外しに一苦労

橋本 剛志 | 日経クロステック / 日経コンストラクション

2022.06.21
有料会員限定

2022年4月12日に解体工事が始まった中銀カプセルタワービル（東京・中央）。故・黒川紀章（1934～2007年）が設計を手掛けた「メタボリズム（新陳代謝）建築」を代表する作品だ。日経クロステックは施工会社の協力を得て内部に潜入。世界でもユニークな建物の解体現場を紹介する。

大部分を防音パネルが覆う中銀カプセルタワービルの解体現場。時折隣接するヤードからクレーンがアームを伸ばし、丸窓を備えたカプセルをビルの上へと引っ張り上げる。建物は11階建てと13階建ての2棟が立ち並び、タワーのコア周囲に合計140個のカプセルユニットを取り付けた構造だ。解体工事では、そのカプセルユニットを上から順に、1つずつ取り外している。



カプセルの取り外しはB棟から始めた（写真：日経クロステック）
【画像のクリックで拡大表示】

建物の解体を巡っては、21年にビルの管理組合が敷地の売却を決定。住人の退去が完了し、解体作業が始まった。

日経クロステックは22年5月20日に、工事を受注した東京ビルド（東京都立川市）の協力を得て内部に潜入した。同社統括本部の庄下雅人取締役統括部長は「他にはない特殊な現場だ。解体を請け負った施工会社として、安全に配慮しながら進めていく」と意気込みを語る。



建物正面を走る東京高速道路の高架越しに中銀カプセルタワービルを見る。右が13階建てのA棟で、左が11階建てのB棟。B棟は塔屋が撤去済みだ（写真：安川 千秋）
【画像のクリックで拡大表示】



内装の解体が進む1階ホールの様子（写真：安川 千秋）

[画像のクリックで拡大表示]

現場の様子からは、様々な制約の中で施工面の工夫が見て取れた。

カプセルの外壁の室内側などにアスベストが使用されていたため、事前の除去作業が必要だった。一定の区画ごとに内部を養生して集じん機を設置。カプセルの内壁を撤去してアスベストの除去を進めた。

カプセル本体の扱いにも工夫が求められた。140個のうち25個は、美術館などで後日展示するなど活用を検討していたため保存する必要があった。空き地に建物を倒すといった手法は使えない。解体に使う重機を置くスペースや、足場を組み立てる際の固定場所が限られた。



カプセル外壁の室内側に使われたアスベストを除去するに当たって、共用部の室内側を養生した上で減圧している。扉の貼り紙は、アスベストを除去した後に保存を検討しているカプセルであることを示す（写真：安川 千秋）

[画像のクリックで拡大表示]

カプセルの状態はまちまちだ。東京ビルド計画管制課の荒川仁吾課長は「床板を剥がしたら、外壁が取れていたカプセルもあった。骨組みの上に乗って作業を進めるようにしている」と語る。一部では植物が生えている場所もあったという。



内壁を取り外し、アスベストの除去作業を終えたカプセルの内部（写真：安川 千秋）

[画像のクリックで拡大表示]

カプセル1個当たりの重さは約3トン。老朽化の程度を確認しながら、慎重に取り外さなければならなかった。解体工事の工期は、22年12月までを予定している。



カプセルを1個ずつ下ろして一部はその場で解体する（写真：日経クロステック）

[画像のクリックで拡大表示]

[解体現場の写真を見る](#)



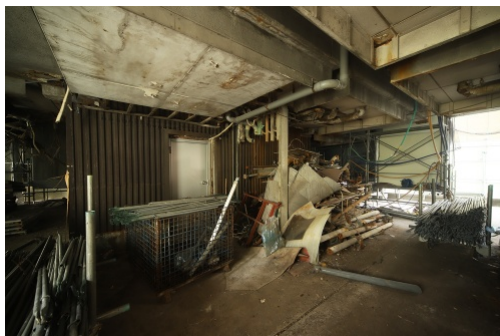
建物は鉄骨鉄筋コンクリート造で頑丈だ。解体作業を進めるために、柱と梁の接合部周辺のコンクリートの一部を事前に除去している (写真：安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



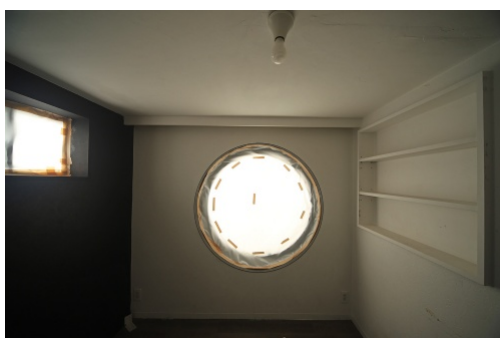
A棟とB棟をつなぐブリッジ (写真：安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



事務所のある2階の屋上部分 (写真：安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



2階の屋上部分は設備配管などを撤去して資材置き場に使っている (写真：安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



カプセル内部の様子。アスベストの飛散を防ぐために養生を施している (写真：安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



内装が建築当時の様子に近いカプセルもあった (写真: 安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



カプセルの底面に設置された配管。老朽化が進んでいた (写真: 安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



隣接するカプセル同士の隙間は狭い (写真: 安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



上階から解体作業を進めるためにカプセルの周囲に足場を組んでいる (写真: 安川 千秋)
[画像のクリックで拡大表示]



カプセルによって建物の外周部が独特な形状となるため、足場の組み方が複雑になる (写真：安川 千秋)

[画像のクリックで拡大表示]

日経BP

Copyright © Nikkei Business Publications, Inc. All Rights Reserved.